

HAHATO.COの活動

HAHATO.CO盛岡支部では、保護者の活動として毎月1回の定例会・座談会・勉強会、
家族活動として月1回のあそびのHIROBA、月1～2回のまなびのHIROBAを開催しています。

どの活動も、定例会やメーリングリストを通して、会員保護者が企画し、運営しています。

医師や心理士、学校の先生方などのご意見やご協力もいただきながら、

子どもも親も共に成長して、社会の一員として歩んでいけたらと思います。

保護者のみなさまへ正会員入会のご案内

現在盛岡支部では、幼稚園から高校生までのお子さんを持つ保護者が、企画・運営をしています。

悩みや情報を共有しながら、できることを少しずつ形にしてきました。一緒に活動する仲間を募集しています。

対象： 発達障がいや困りを抱える子どもとその家族(診断の有無は問いません。個人でも家族でも1単位としています。)

入会金： 2,000円

年会費： 5,000円(月払いの場合は500円／月、年度途中からの場合は月割または年払いのどちらか安い方。)

①会員期間は、11月1日～10月31日までの1年間、退会の申し出がない限り、自動的に1年更新するものとします。②年度途中入会の方も、10月31日までを会員期間とします。③途中退会されても、会費の払い戻しはいたしません。④特別企画の参加費は、実費相当額を個人負担とします。

支援者(医師・心理士・学校の先生など)の方へ賛助会員登録のご案内

現在盛岡支部では、正会員・賛助会員の会費だけでは運営できず、助成金を受けながら、会員も参加費を負担して活動しています。

活動を応援していただける方は、賛助会員の登録をお願いいたします。賛助会員のみなさまへは、勉強会や様々な会の情報を企画段階でお伝えいたします。

対象： HAHATO.COの活動を応援していただける個人または団体

入会金： なし

年会費： 1口1,000円(認定NPOを目指しておりますので、可能な方は3口以上をお願いします。)

①会員期間は、11月1日～10月31日までの1年間、退会の申し出がない限り、自動的に1年更新するものとします。②年度途中入会の方も、10月31日までを会員期間とします。③途中退会されても、会費の払い戻しはいたしません。④特別企画の参加費は、実費相当額を個人負担とします。

ボランティアのご案内

現在盛岡支部には、まなびのHIROBAやあそびのHIROBAの活動に、大学生や支援学校の先生、塾の先生など様々な方がボランティアとして来られています。ご参加いただける方は、ご連絡ください。

ガイドブックを作ってみました！



困っている子ども本人の気づきと対応を考えたガイドブックを保護者で作成してみました。

現在発売準備中です。

売り上げは、ガイドブックの印刷費と子どもたちとの活動費として使用させていただきます。

【初版】

Kindle版 99円

印刷版 120円

お問い合わせ・お申し込みは



<企画・発行>

NPO法人HAHATO.CO盛岡支部

ホームページ： www.hahato-co.jp

ブログ： blog.hahato-co.jp/wp/

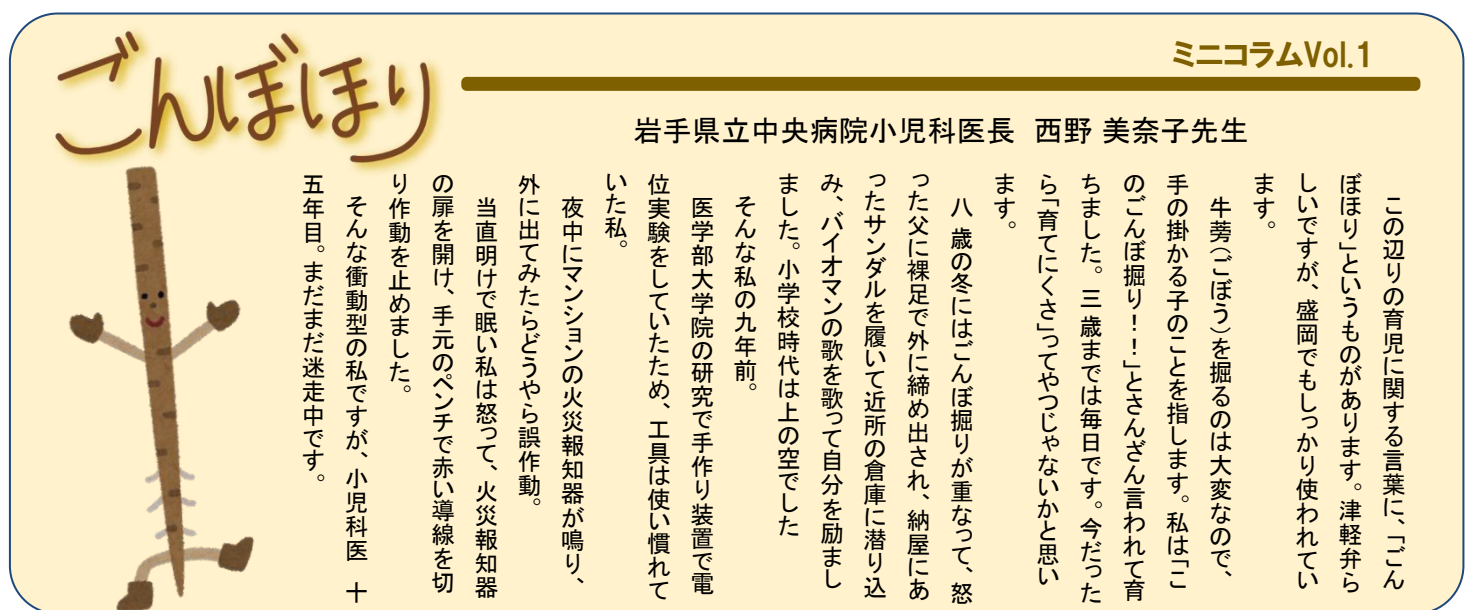
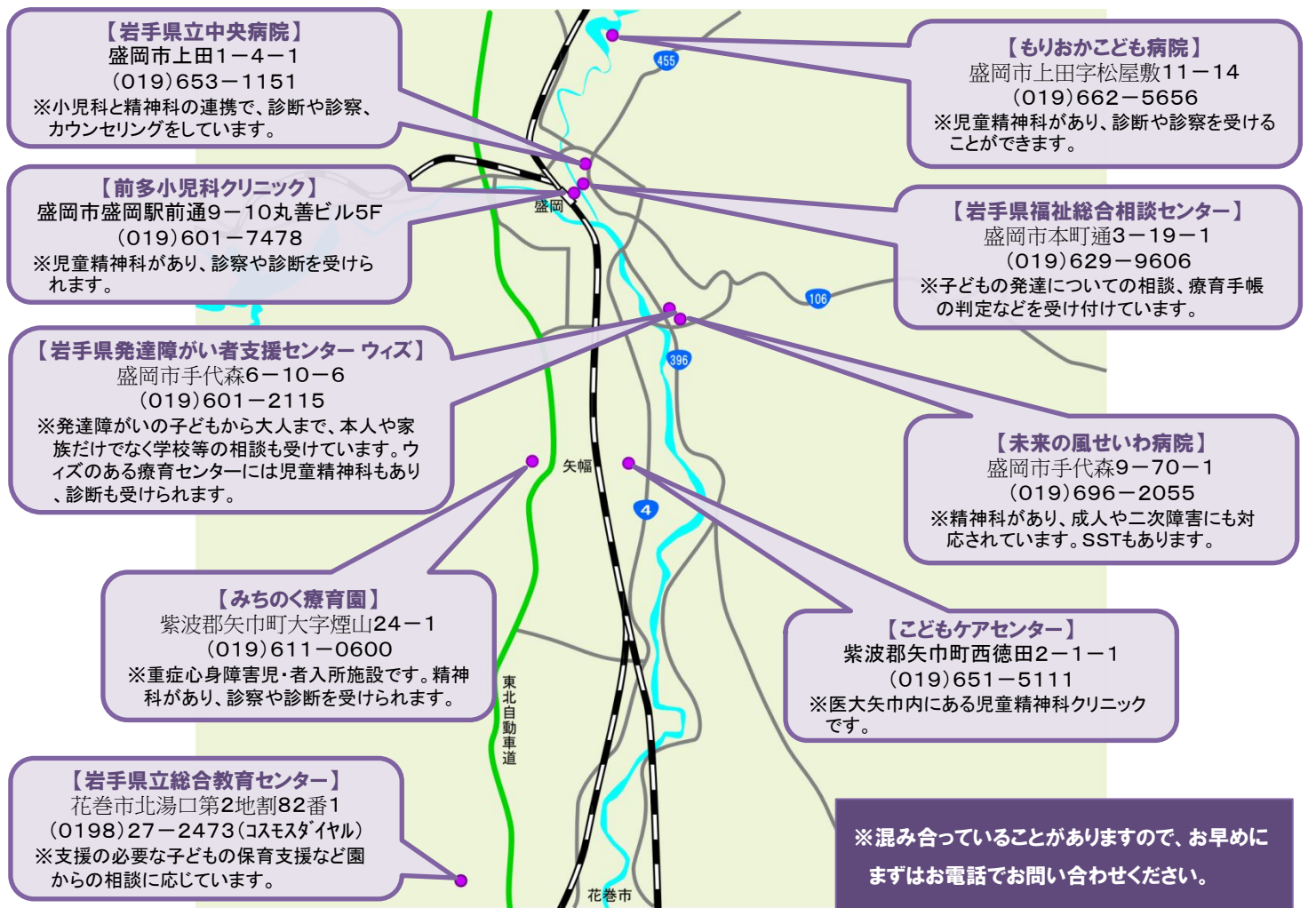
メール： morioka@hahato-co.jp

発達ナビ連載中！ h-nabi.jp/user/73



発行： NPO法人HAHATO.CO盛岡支部 ホームページ：www.hahato-co.jp お問い合わせ：morioka@hahato-co.jp

盛岡近郊の発達障がい相談機関・医療機関



保護者勉強会

H27年9月にスタートした勉強会。
H27年度は、「困りを抱えた子どもたちの保護者・支援者勉強会」と称して、下記の通り様々なテーマで開催しました。

H27年9月	幼児期に現れる特性と個々に合わせた発達支援①	岩手県発達障がい者支援センターウィズ佐藤友紀先生
10月	視覚機能の観点からの支援～見え方の違いと対応～	ビジョントレーニングインストラクター 鬼柳祥章氏
11月	幼児期に現れる特性と個々に合わせた発達支援②	岩手県発達障がい者支援センターウィズ佐藤友紀先生
12月	学齢期における学習面の課題について	特別支援エリアコーディネーター 那須川智子先生
H28年1月	困りを抱えた子どもたちへのタブレット活用入門	筑波大学人間系教授 熊谷恵子先生
2月	学齢期における対人面の課題について	岩手県発達障がい者支援センターウィズ佐藤友紀先生
3月	普通級・支援級就学に向けての配慮	盛岡市教育委員会学校教育課指導主事 王安城正敏先生

※役職等は開催当時のものです。

H28年1月31日開催「困りを抱えた子どもたちへのタブレット活用入門」



タブレットによる学習支援事業への「H27年度いわて子ども希望基金」による助成を受けて、1月の勉強会は筑波大学人間系教授 熊谷恵子先生をお招きして、診断に理解のあるお子さんも一緒に参加できるICT活用についての会を開催しました。

4月施行の障害者差別解消法など昨今の状況も踏まえて、ICTを導入した事例の紹介や実際のアプリ体験など、新たな発見が多く充実した勉強会でした。

タブレットPCの活用が、情報の入力・出力等において困難を抱えている子にとって、生活や学習を補う便利なツールになることを願います。

H27年度の実績とH28年度の勉強会について

H27年度は、1月の勉強会を除き参加費のみによる運営でしたので、参加費を上げざるを得ませんでした。単月で計算すると赤字の月もありましたが、何とか運営することができました。

H28年度は、いわて子ども希望基金の助成を得られることとなりました。資料代程度の参加費ですので、より多くの方にご参加いただければと思います。

H 2 7 年 度 の 収 支		
収入	362,468	支出 239,460
・参加費	228,534	・会場費 41,400
・助成金	133,934	・謝金 18,350
※		・謝礼(物品) 7,996
HAHATO.COの会計		・交通費 29,080
年度は11～10月ですが、4～3月で再計算しています。		・会議費 14,040
リースはタブレットとプリンタです。		・印刷費 27,200
振込手数料は、各用途に合算しています。		・通信費 44,107
		・消耗品 17,693
		・リース 30,216
		・保険 2,240
		・雑費 7,138
		勉強会収支 123,008

まなびのHIROBA

H27年4月にスタートしたまなびのHIROBA。
正解を出す必要のない環境で、社会の暗黙のルールを考えてみたり、自由な発想を発言してみたり。

教え込むのではなく、ルールを視覚的に提示しながら一緒に楽しむことを意識して活動しています。

いわて子ども希望基金によるタブレット導入と、岩手大学の地域課題解決プログラムによるタブレットの学習支援アプリ開発で、子どもたちの学習環境はより楽しいものになりました。

あそびのHIROBAの準備で、タブレットで調べたレシピをまとめる作業もしました。
生きることにつながる「まなび」を実践していきたいと思います。

ま な び の H I R O B A 体 験 会 (1 1 月 ・ 1 2 月 ・ 3 月)



ある日の活動の様子です。
初めに予定を説明してから、目の体操。指を使った目の運動(親子で向き合い左右、上下、寄り目など)と、じゃんけんゲームをしました。緊張から輪の中に入れなかった子も、じゃんけんに釣られて輪の中へ。前に出た子に負けるように出すじゃんけんゲームは盛り上がります。

次のおはなしの時間では、公共の場でのルール説明があり、脳のおはなしをしました。

「脳を動かせるのには何が必要でしょうか？」の問いに「甘いもの！」と元気に答える子もありました。
コミュニケーションスキルトレーニングの時間には、しりとりにかたろーぐ。
タブレット学習では、一人一台タブレットを使い夢中になりました。

H27年度の実績とH28年度のまなびのHIROBAについて

H27年度は、岩手大学の地域課外解決プログラムによる技術的支援と、タブレットによる学習支援へのいわて子ども希望基金を得て、まなびのHIROBAを運営しました。

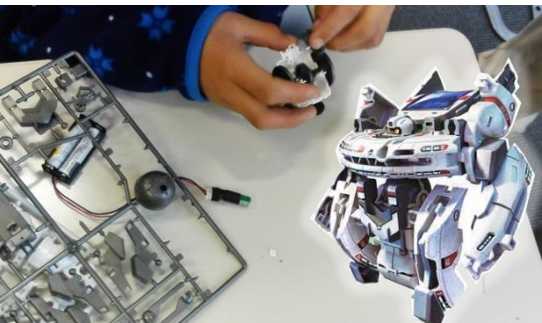


H 2 7 年 度 の 収 支		
収入	220,566	支出 241,857
・参加費	65,500	・会場費 41,400
・助成金	155,066	・謝礼(物品) 4,180
※		・交通費 2,680
HAHATO.COの会計		・教材費 6,966
年度は11～10月ですが、4～3月で再計算しています。		・印刷費 35,964
リースはタブレットとプリンタです。		・通信費 1,914
振込手数料は、各用途に合算しています。		・消耗品 2,281
		・リース 181,296
		・保険 4,200
		・ロッカー 2,376
		・雑費 7,138
		まなびのHIROBA収支 △21,291

あそびのHIROBA



H27年10月	親子クッキング「ちらしずしを作ってみよう！」
11月	親子エクササイズ「親子でカラダを動かそう！」 一関修紅高等学校 清田博美先生
12月	親子自由研究「ソーラーパネルで作ろう！」 環境アドバイザー 高橋功先生
H28年1月	親子エクササイズ「バランスボールで遊ぼう！」 一関修紅高等学校 清田博美先生
2月	親子クッキング「チョコ入りバレンタインカレー」
3月	親子自由研究「廃油でキャンドルを作ろう！」 環境アドバイザー 川辺弥生先生



3月26日開催「廃油でキャンドルを作ろう！」



岩手県温暖化防止活動推進員の川辺弥生先生を迎え開催されたこの会。
廃油の量を計り、80℃に温度を調節しながらクレヨンと凝固剤も加えて鍋で溶かしました。
「熱いから気を付けて」という先生の注意がありながらも小瓶に流し込む際に少し手にかかってしまう子も。
「すぐに冷やせば大丈夫」とも聞いていたので慌てずに流水で冷やしに行き、やけどをすることはありませんでした。少しくらいの「熱い」「痛い」は注意につながるので必要だと思う、と先生はおっしゃっていました。
次第に子どもたちの注意力も高まり、気を付けながらも好きな色に配色したり香り付けをして完成させました。 優しいもの、ポップなもの、落ち着いた感じのもの…色々なニュアンスのものができました。

H27年度の実績とH28年度のあそびのHIROBAについて

H 2 7 年 度 の 収 支		
収入	126,000	支出 144,547
・参加費	41,000	・会場費 58,980
・助成金	85,000	・謝金 10,000
(3月末現在)		・謝礼(物品) 1,040
※		・交通費 8,359
HAHATO.COの会計		・材料費 42,998
年度は11～10月ですが、4～3月で再計算しています。		・印刷費 8,359
振込手数料は、各用途に合算しています。		・通信費 590
		・保険 5,460
		・雑費 1,170
		あそびのHIROBA収支 △18,547

H28年度もひきつづき子どもゆめ基金の助成を受けて、「クッキング」「エクササイズ」「自由研究」の3つの項目で開催予定です。
一関修紅高校の清田先生をはじめ、県の環境アドバイザーの先生方のご指導を受けながら、楽しく様々な体験を親子で積み重ねていきたいと思っています。
毎月開催しておりますので、ホームページで予定をご確認の上、お申込みください。